

63年度事業の

傾向と対策



常民文化史料館(縮立)の展示室を建て替え



町道25路線の改良舗装を計画、うち新規は15路線

縮立の常民文化史料館の展示室はこれまでプレハブでした。それを永久建築に建て直します(木造瓦ぶき二階建て・予算一千三百万円)。町の文化財保護審議会委員の渡辺奎二さんは「昔の人の使った生活用具や土器など、せつかく集めた貴重な資料が人目に触れず死蔵されているのはもったいない。建て直すことでできるだけ多くの資料を展示して、たくさんの人に見てもらえれば……できれば、昔の道具は見るだけでなく手で触れて、先人の生活や苦勞を肌で感じられるようにできたらいいと思います」



町道の改良舗装は、本年度25路線を計画しています。国の補助事業で鳥原寺地線と山田2号線、町の単独事業では各地域の生活道路23路線です。うち黒鳥29号線など15路線が今年から新たに改良工事などが行われる計画ですが、黒鳥二番組の自治会長・白井勲さんは「旧広域農道が利用しやすくなって、地元としてはたいへん喜んでいる。ただ旧広域農道と県道新潟寺泊線の交差点が、朝晩に渋滞するので、右折車線を設けたりしてより利用しやすいものにしてほしい。せつかく町道になったんだから」



あなたとく
町をつなぐ
広報

くるさき

1988
5
No.296

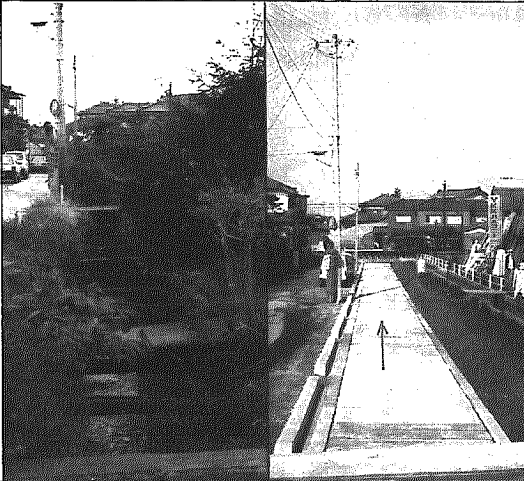
私はこう考える——本年度の重点事業から



独居老人にシルバーホン、88歳以上の人に長寿祝金

大野都市下水道事業に取り組み始めて今年で14年目。63年度は前川原ポンプ場の機械設備の拡充、大野2号、3号幹線下水道の築堤工事が行われるほか、寺地団地の水路の改修なども計画しています。大野七区の自治会長・石川剛さんは「下水道にフタをしておもろうのはいいいことだ。工事のとき、泥をさらってもえれば、夏場においや虫などで悩まされることもなくなるだろう。黒埼町は他市町村に比べ下水道が遅れているようなので、環境衛生保全のため、町全体の下水道計画を早急に立ててほしい」

昨年寝たきり老人のための特殊浴槽が黒埼荘に設置され、今年から利用を始めます。今年の老人福祉事業として、独り暮らしのかたが緊急連絡できるシルバーホンの貸し出しと長寿祝金の支給が新しく始められます。老人クラブ連合会副会長の佐藤忠六さん(寺地団地・70歳)は「老人を大切にするという考えの表れで、とてもいいことだと思います。これからは、困っている人にはみんなの手を差しのべて、手助けしていくような環境づくりが大切でしょう。ボランティアの活動に期待します」



大野都市下水道2号幹線、3号幹線を改修してフタ設置

大野都市下水道事業に取り組み始めて今年で14年目。63年度は前川原ポンプ場の機械設備の拡充、大野2号、3号幹線下水道の築堤工事が行われるほか、寺地団地の水路の改修なども計画しています。大野七区の自治会長・石川剛さんは「下水道にフタをしておもろうのはいいいことだ。工事のとき、泥をさらってもえれば、夏場においや虫などで悩まされることもなくなるだろう。黒埼町は他市町村に比べ下水道が遅れているようなので、環境衛生保全のため、町全体の下水道計画を早急に立ててほしい」

